

動画制作ワーキング

本市では、地域での普及啓発に加え、認知症の人とその家族とともに、認知症の人の想いや前向きな姿を盛り込んだ動画を制作し、より幅広い世代へ向けて動画を活用した普及啓発を図るため、動画制作ワーキングを実施している。

1. 経過

(1)第1回ワーキング 8月2日(水)10時～12時

テーマ：ワーキンググループの趣旨等について
動画作成について
今後の進め方について

仙台市より、ワーキングメンバー(以下メンバー)へ、動画制作ワーキンググループの趣旨について資料を用いて説明した。また、動画作成は質問形式で行うことに際して、「誰に」「何を」「聞きたい、知りたい」に対して意見を出しあった。認知症の人やその家族、認知症に対しての想いや考えが共有された。

(2)第2回ワーキング 10月20日(金)10時～12時

テーマ：動画を通じて伝えたいこと、知ってほしいこと
動画の撮影シーンについて(どんなシーンで撮影したら伝わりやすいか)

動画を通して伝えたいことや、知ってほしいことを付箋に書き、メンバーそれぞれが思いとともに発表することで共有した。また、動画撮影に際してどのような場面を撮影することがよりよいか、実現可能なものに限らず自由に意見を出しあった。

(3)第3回ワーキング 11月14日(火)10時～12時

テーマ：動画撮影

第1回・2回ワーキングから出た意見を集約した質問事項を事前にメンバー間で共有し、動画撮影を実施した。メンバーの学生が認知症の人とご家族に質問をする形式と、認知症の人とご家族から、メンバーの学生に質問をする形式で実施した。その際にメンバーから寄せられたメッセージの一部を以下に記載する。



- ・「認知症＝なにもわからなくなる」のではなく、できることはある。周りのサポートがあれば普通に生活できることを知ってほしい。
- ・「認知症の人だから」で終わるのではなく、その人の個性をみて、接してほしい。
- ・認知症の人も一人の人間だ、一歩踏み出してコミュニケーションを取ってほしい
- ・ネガティブなイメージだけでなく、新たに未来を見て活動できるということを知ってほしい。
- ・一人で抱え込まず周りに相談し、様々な支援とのつながりを大切にしてほしい。

2. 今後の予定

(1)編集作業(11月～1月)

(2)幅広い世代に向けての発信方法を再検討(1月～2月)【第4回ワーキング】

完成した動画をメンバーで確認し、さまざまな発信方法・活用方法について再検討する。